

バックアップ電源ユニット接続対応
エコフィール

型名 EHI-4564SG-1

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書はお買い求めの販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失されたときは、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS1号灯油）を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20750800 (K)

も く じ ページ

ご使用の前に

特に注意していただきたいこと	2
各部の名称とはたらき	
外観図	7
台所リモコン	8
防水形増設リモコン	9
使用前の準備	10
時刻の設定	13

運転のしかた

使用方法	
給湯運転	14
バックアップ運転(停電時の操作)	17
ピークシフト運転	18
呼び出し	18
表示部明るさの設定	19
表示部省エネモードの設定	20
ピークシフト時刻の設定	21
ピークシフト運転の設定	22
凍結予防	23
運転再開時の注意	26
安全装置	27
その他の装置	27
使用上の注意	28

上手に使ってね

日常の点検・手入れ	
点検・手入れのときの注意	29
点検・手入れの 時期、必要項目、方法	29
定期点検	31
法定点検	31

故障かな？

故障・異常の見分けかたと処置方法	32
部品交換について	36
別売部品について	36
仕様	37
アフターサービス	38
据付け	39

保証書	巻末
-----	----

特に注意していただきたいこと

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	注 意		高温注意	指 示		電源プラグを 抜くこと
		接触禁止			感電注意			アースを接続 すること
		分解禁止			一般的な警告 ・注意			必ず行うこと
		一般的な禁止						

警告 (WARNING)

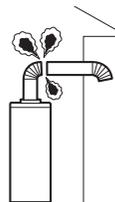
ガソリン厳禁



ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

排気筒はずれ危険

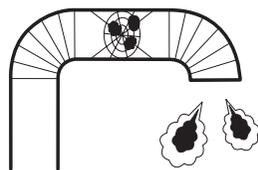
(酸欠事故・火災・過熱の原因)



排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

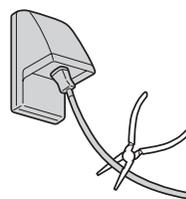
排気筒の閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)



排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

電源コードを切断して延長しない



電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 注意 (CAUTION)

高温注意



シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の方がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。リモコンの運転スイッチを押して「切」にしても機器内の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。

高温部接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部(機器・排気筒・拡散排気筒)に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。

油漏れに注意 (火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

純正部品以外は使用しない



事故防止のため当社純正部品以外は使用しないでください。

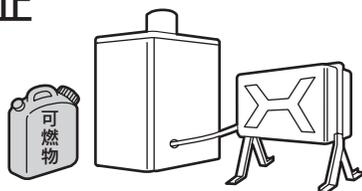
分解修理・改造の禁止

(火災・感電・漏電の原因)



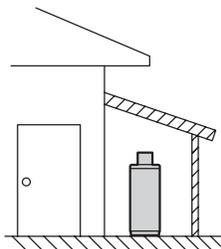
故障や破損したときは、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

可燃物禁止



壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

囲い禁止



機器や拡散排気筒を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。

安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。 **27ページ**

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)



油漏れや臭い、ススの発生など異常や故障と思われるときは、使用しないで買い求めの販売店にご連絡ください。

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意



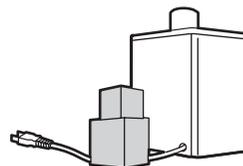
機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

電源プラグのお手入れをする



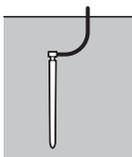
ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

電源コードを傷めない



電源コードに無理な力を加えたり、ものを載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

必ずアースをする



この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

濡れた手危険



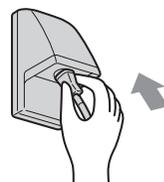
電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。

家庭用以外の使用禁止



この機器は家庭用です。家庭用以外には使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になったりすることがあります。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。家庭の給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

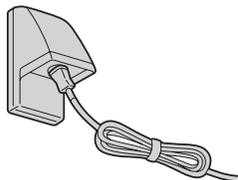
電源プラグは確実に差し込む



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

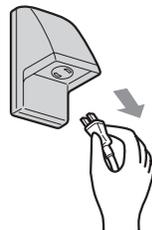
⚠ 注意 (CAUTION)

電源コードは束ねたまま
使用しない



電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。火災や発熱の原因になります。

電源プラグを抜いて
停止させない



電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因になります。必ずリモコンの運転スイッチを押して「切」にし、停止してください。

長期間使用しないときは機器内の
水抜きを行い、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。火災や思わぬ事故の原因になります。 **25・26ページ**

お願い (NOTICE)

電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。離して設置してください。

凍結に注意 (故障の原因)

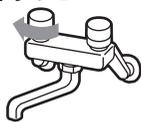


冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。 **23～26ページ**

断水的时候は



閉める



給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。

リモコンに水をかけない



リモコンに水をかけないでください。故障の原因になります。

特に注意していただきたいこと

お願い (NOTICE)

この機器は上水道用です



地下水・井戸水使用時の注意

地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は保証期間内でも有料になります。

温泉水は使用しない

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

落雷のおそれがあるときの処置



雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかにリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込んでください。

高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談を… (燃焼不良の原因)



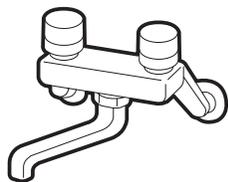
標高1,000~1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
※標高1,300mを超える場所では使用できません。

サービススペースの確保

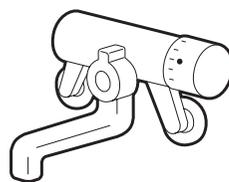


機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。前パネル側は必ず60cm以上あけてください。(工事説明書参照)

混合水栓について



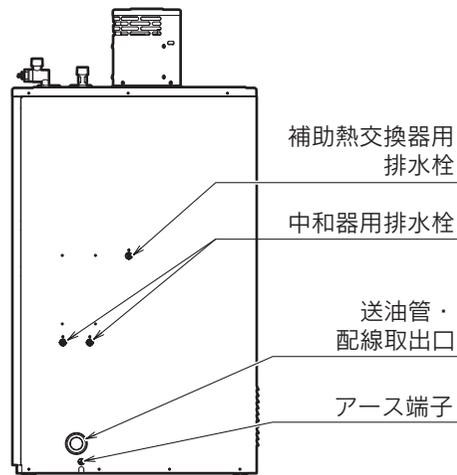
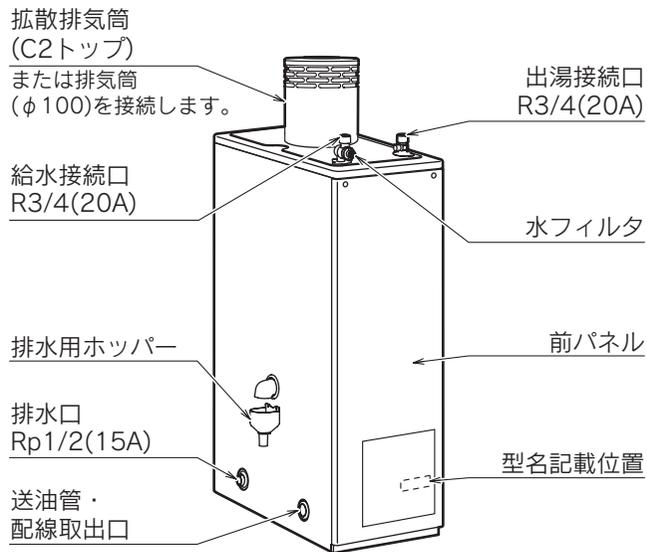
混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください(出湯量が少なくなる可能性があります)。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



やけど防止のためサーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめします。リモコンの給湯設定温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。

各部の名称とはたらき

外観図



右側面

各部の名称とはたらき

台所リモコン(CMR-2904)

① 運転スイッチ (運転ランプ)

運転・停止・リセットするときに押します。運転スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

② 時計スイッチ (時計ランプ)

時刻を設定するときに押します。時刻を設定するときに点灯します。

③ 給湯温度調節スイッチ

給湯設定温度・現在時刻・表示部明るさ・表示部省エネモードなどを調節するときに押します。「優先」が点灯しているときのみ給湯設定温度の調節ができます。

▲…温度を高くする
▼…温度を低くする
温度調節範囲
低～高(約15～75℃)の範囲で7段階 **15ページ**

④ 油面計表示

油タンク内の灯油の残量を表示します。別売の「油切れ予告装置(OC-5)」を取付けたときに表示します。

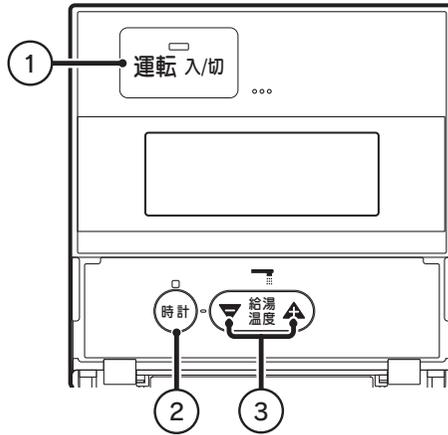
⑤ 優先表示

「優先」が点灯しているときのみ給湯設定温度の調節ができます。 **16ページ**

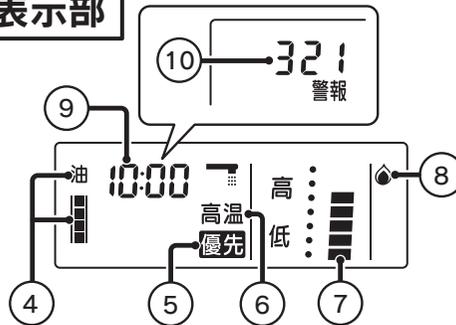
⑥ 高温表示

給湯設定温度を6段以上に設定したときに点灯します。

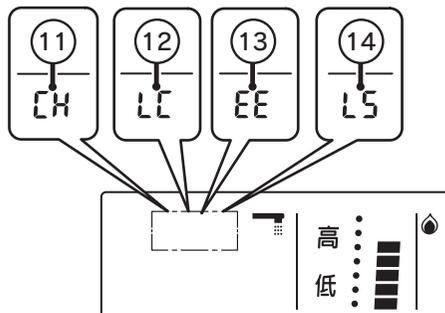
ふたを開いた状態です。



表示部



バックアップ電源ユニット関連の表示



⑦ 給湯温度表示

給湯設定温度(7段階)を表示します。

⑧ 燃焼表示

点灯…バーナーが燃焼中です。
点滅…安全装置が作動し燃焼(警報)が停止しています。

⑨ 現在時刻表示

現在時刻を表示します。

⑩ エラーコード表示

機器に何らかの異常があるときに表示します。
34・35ページ

⑪ バッテリー充電中表示

バッテリー充電中のときに点滅します。

⑫ バッテリー交換表示

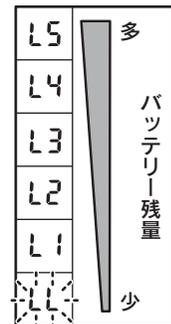
バッテリーの交換時期になると点滅します。

⑬ ユニット異常表示

バックアップ電源ユニットが故障したときに点滅します。

⑭ バッテリー残量表示

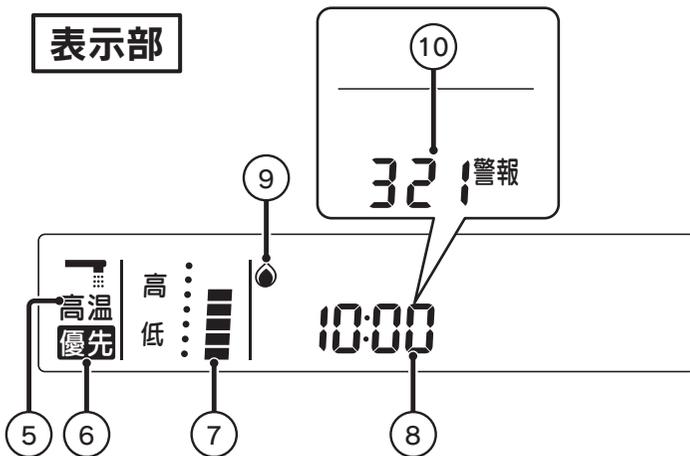
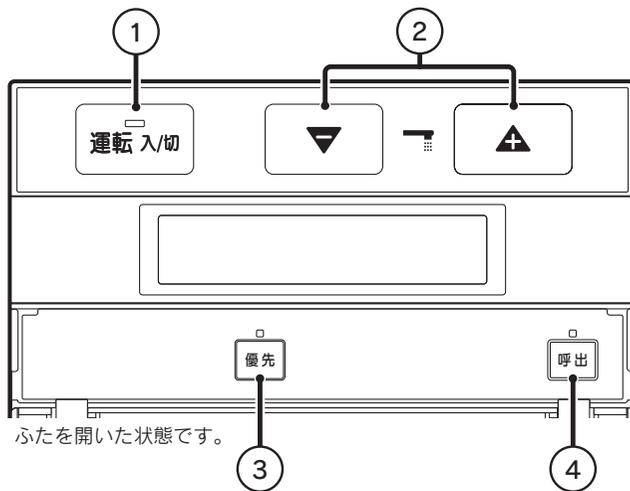
使用できるバッテリーの残量を6段階で表示します。バックアップ運転中に表示します。



表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

防水形増設リモコン(別売部品・YST-2903)

<p>① 運転スイッチ(運転ランプ)</p> <p>運転・停止・リセットするときに押します。 運転スイッチが「入」のときに点灯します。</p> <p>リセット(警報解除)の方法 運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。</p>
<p>② 給湯温度調節スイッチ</p> <p>給湯設定温度・表示部明るさ・表示部省エネモードなどを調節するときに押します。 「優先」(優先ランプ)が点灯しているときのみ給湯設定温度の調節ができます。 ▲…温度を高くする ▼…温度を低くする 温度調節範囲 低～高(約15～75℃)の範囲で7段階</p> <p style="text-align: center;">15ページ</p>
<p>③ 優先スイッチ (優先ランプ)</p> <p>防水形増設リモコンで給湯設定温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯設定温度の調節ができます。</p>
<p>④ 呼出スイッチ(呼出ランプ)</p> <p>台所リモコンを呼び出すときに押します。台所リモコンを呼び出しているときに点灯します。</p>
<p>⑤ 高温表示</p> <p>給湯設定温度を6段以上に設定したときに点灯します。</p>
<p>⑥ 優先表示</p> <p>「優先」が点灯しているときのみ給湯設定温度の調節ができます。 16ページ</p>
<p>⑦ 給湯温度表示</p> <p>給湯設定温度(7段階)を表示します。</p>
<p>⑧ 現在時刻表示</p> <p>現在時刻を表示します。</p>
<p>⑨ 燃焼表示</p> <p>点灯…バーナーが燃焼中です。 点滅…安全装置が作動し燃焼が停止し(警報)ています。</p>
<p>⑩ エラーコード表示</p> <p>機器に何らかの異常があるときに表示します。 34・35ページ</p>



表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

使用前の準備

燃料

警告

●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

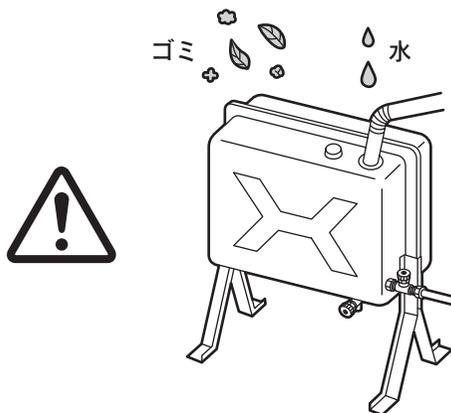


給油

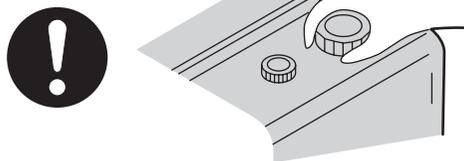
●給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意

給油の際に水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。



2 給油口ふたは確実に閉める



3 こぼれた灯油はふきとる



燃料切れをしたときは

⚠ 注意

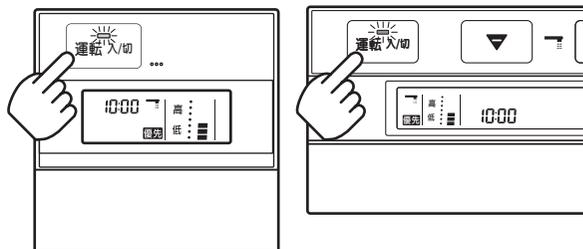
- 何度も空運転(電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転)をすると、電磁ポンプの寿命が短くなり、性能低下の原因になります。性能低下すると、熱交換器内に油がたまることで燃焼不良の原因となり、排気筒や拡散排気筒から発煙し建物の壁などを汚すおそれがあります。

燃料切れをしたときは警報を表示してお知らせします。

油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。(リセットすることにより、電磁ポンプを空運転し送油経路の空気抜きを行います。)

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

約8回リセットを繰り返すと再点火防止機能がはたらき、リモコンでのリセットができなくなります。



■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから、再度押して「入」にします。

お知らせ

- 燃料切れをしたときは、送油経路の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火せずに警報になったりすることがありますが故障ではありません。

油切れ予告装置(別売部品・OC-5)を取付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示することができます。



- 灯油の残量が一番少ない表示になったときに、エラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定は油切れ予告装置付属の説明書をご覧ください。

油切れ予告装置(別売部品・OC-31)を取付けたとき

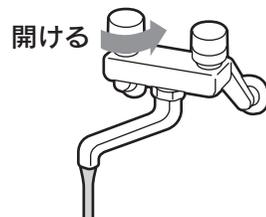
- 灯油がなくなる前に、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

使用前の準備

点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

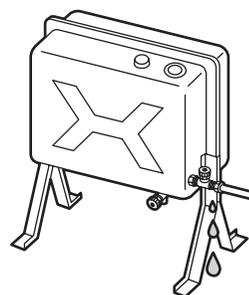
1. 給水元栓と給湯栓を開け、水が出ることを確認してください。
2. 機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。



2 送油経路の点検

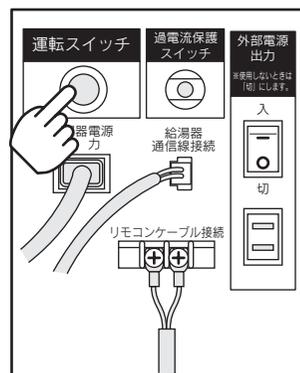
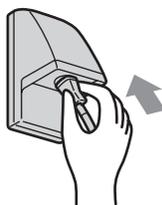
⚠ 注意

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。



3 電源プラグの差し込みとバックアップ電源ユニットの確認

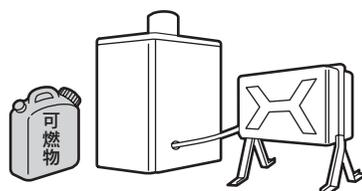
1. バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
2. 運転スイッチを押して電源を「入」にします。
(運転ランプが約5秒間点灯します。)
(以降は約5秒ごとに点滅します。)



4 周囲の点検

⚠ 注意

機器本体・排気筒・拡散排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。



時刻の設定

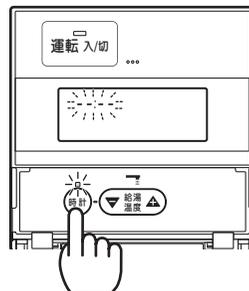
現在時刻の設定

- 台所リモコンで現在時刻の設定を行ってください。
時計は24時間表示です。

1 ふたを開く

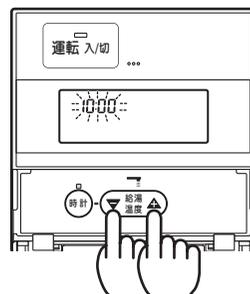
2 時計スイッチを押す

現在時刻の設定を行っていない場合は、「-- : --」を表示します。



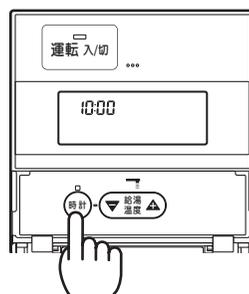
3 給湯温度調節スイッチを押して 現在時刻を設定する

1回押すと1分ごと、押し続けると10分ごとで変わります。



4 時計スイッチを押す

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。



5 ふたを閉じる

お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 停電や電源プラグを抜いた後、現在時刻を表示しない場合は現在時刻を設定してください。
- 防水形増設リモコンでは現在時刻を設定することはできません。

使用方法

給湯運転(お湯を出します)

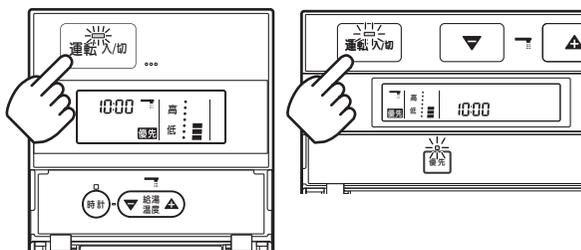
⚠ 注意

- シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- シャワーを使用するときはリモコンの給湯設定温度を確認し、いきなり体や頭にはけず必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯設定温度をよく確認してから使用してください。給湯設定温度を6段以上で使用した後、再度使用するときは特に注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

1 ふたを開く

2 運転スイッチを押して「入」にする

すべてのリモコンの運転ランプが点灯します。運転スイッチを押したリモコンの「優先」(優先ランプ)が点灯します。給湯設定温度が6段以上に設定されているときは、すべてのリモコンで「高温」が点灯しブザーが「ピピツ」と鳴ってお知らせします。

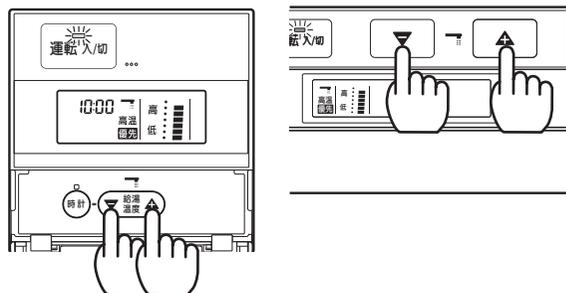


3 給湯温度調節スイッチを押す

(一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)

「優先」(優先ランプ)が点灯しているリモコンで温度調節ができます。給湯設定温度は低～高(約15～75℃)の範囲で7段階に調節できます。給湯設定温度を変更すると、操作していないリモコンでブザーが「ピピツ」と鳴ってお知らせします。

また、6段以上に設定したときは、すべてのリモコンで「高温」が点灯します。



4 給湯栓を開ける

お湯が出ます。温度が下がると自動的にバーナーが点火し、燃烧表示が点灯します。

5 給湯栓を閉める

長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。
 リモコンの運転ランプが消灯します。
 (凍結のおそれのあるときは、凍結予防の処置を行ってください。) **23~26ページ**

6 ふたを閉じる

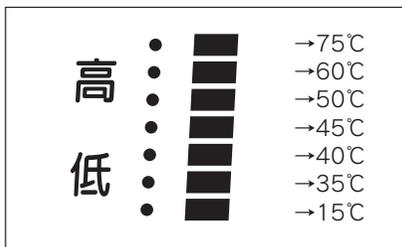
お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンで給湯設定温度を低い温度に設定するとご希望の温度にならないことがあります。リモコンの給湯設定温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。
- サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯設定温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。

給湯温度のめやす

(条件：給水温度約20℃、出湯量毎時約600リットルの場合)

- 給湯設定温度はめやすです。配管・給水温度・流量により変化しますので、お湯の温度を確かめてからご使用ください。



給湯量と給湯温度の早見表

- 給湯量と給湯温度との関係は右表がめやすになります。
(水温20℃のとき)
- 給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。
- 給湯量は機器から出湯できる最大能力を記載しています。

給湯温度(℃)	最大給湯量(L/h)
45	1,560
50	1,320
60	960
75	720

リモコンの優先について

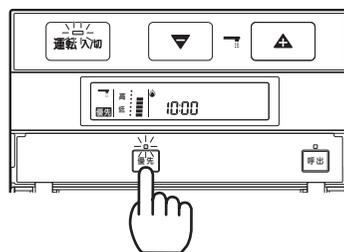
⚠️ 注意

- シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- 台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯設定温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどをしたり冷水による思わぬ事故につながったりすることがあります。このような事故を防止するため、リモコンを複数取付けているときは優先ランプと「優先」が点灯しているリモコン以外は給湯設定温度の変更ができませんようになっています。(台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。)

防水形増設リモコンを優先にするとき

防水形増設リモコンの優先スイッチを押す

「優先」(優先ランプ)が点灯して、給湯設定温度の調節ができるようになります。もう一度優先スイッチを押すと、「優先」(優先ランプ)が消灯し優先が解除されます。



お知らせ

- 防水形増設リモコンが優先になっているときに、優先スイッチを押すと、優先が解除されて台所リモコンが優先になります。
- 優先が切り替わり給湯設定温度が変更されたときは、優先スイッチを押して「優先」にしたリモコンを除き、すべてのリモコンでブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

バックアップ運転(停電時の操作)

- 停電が発生したときに、バックアップ電源に切換えて運転を行うことができます。

10秒以上停電すると、給湯器の運転が停止してリモコンの表示部が消灯します。1分間以上経過した後バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンで以下の操作を行ってください。

停電時の操作方法

1 運転スイッチを押して「入」にする

リモコンの運転ランプが点灯します。

約20秒間経過すると、リモコンの表示部が点灯して給湯器が使用できるようになります。

バックアップ運転中はすべてのリモコンの「優先」が消灯し、給湯設定温度は4段階(約45℃)に固定されます。

(温度調節はできません。)

停電が復帰したとき

- 停電が復帰すると自動的に通常運転(商用電源)に切換わりますが、給湯設定温度は4段階(約45℃)のままです。

「優先」を表示しているリモコンで給湯設定温度の調節ができます。

運転スイッチが「入」の状態です。停電が復帰した場合

- 自動的に通常運転(商用電源)に切換わり運転を継続します。

運転スイッチが「切」の状態です。停電が復帰した場合

- 自動的に通常運転(商用電源)に切換わりますが、給湯器を使用する場合はリモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。

お知らせ

- 停電およびバックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。給湯器の使用後はリモコンの運転スイッチを押して「切」にし、凍結予防の「機器内の水を抜く方法」の「2」以外の処置を行ってください。 [25・26ページ](#)
- バックアップ運転中はリモコンの表示部にバッテリー残量が表示されます。
- バックアップ運転中にリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから約5秒後、または運転スイッチを押して「入」にしてから約10分間経過すると、バックアップ電源の電力消費を抑えるために自動で運転を停止します。運転を再開するときは、再度「停電時の操作方法」を行ってください。



ピークシフト運転 別売の増設リモコン(CMR-2501SV)が必要です。

- ピークシフト運転とは、お客様が設定した時間帯になると自動的にバックアップ電源ユニットからのインバーター電源に切りかわり、運転を続けます。
設定した時間帯を過ぎると、商用電源に切りかわります。
昼間単価よりも安い夜間単価が適用される料金プランの場合は、昼間時間帯にピークシフト運転を行うと電気料金が節約できます。

運転の準備 (別売の増設リモコンCMR-2501SVで設定します。)

- ・ピークシフト運転を行うためには、ピークシフト時刻(開始時刻と終了時刻)およびピークシフト運転の設定を行う必要があります。 **21・22ページ**

お知らせ

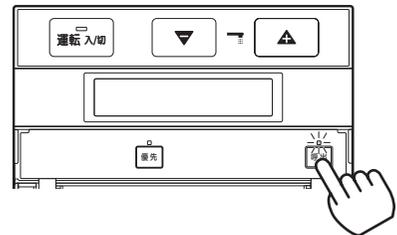
- 現在時刻の設定がされていないと、ピークシフト時刻およびピークシフト運転の設定ができません。 **13ページ**
- ピークシフト時間帯にリモコンの運転スイッチを「切」にすると、自動的に商用電源に切りかわります。(ピークシフト時間帯に再度運転スイッチを押して「入」にすると、自動的にバックアップ電源に切りかわります。)
- リモコンの運転スイッチが「切」のときは、ピークシフト時間帯になってもバックアップ電源に切りかわりません。(ピークシフト時間帯に運転スイッチを押して「入」にすると、自動的にバックアップ電源に切りかわります。)
- ピークシフト運転中にバックアップ電源ユニットのバッテリー電圧が低下すると、ピークシフト時間帯でも自動的に商用電源に切りかわり、運転を続けます。
- ピークシフト運転中に停電を検知すると、停電時の動作に切りかわります。
「停電時の操作方法」を参照してください。 **17ページ**

呼び出し

- 防水形増設リモコンを設置している場合、浴室で必要なものがあるときや気分が悪くなって人を呼びたいときなどに、防水形増設リモコンから台所リモコンの呼び出しを行うことができます。

1 ふたを開く

2 呼出スイッチを押す



台所リモコンのブザー音でお知らせします。

お知らせ

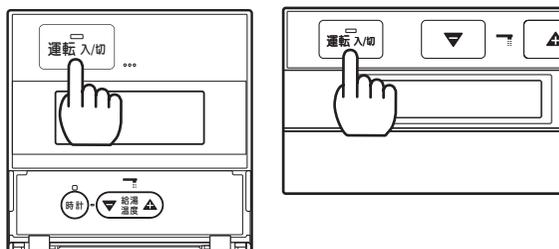
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく呼び出しを行うことができます。

表示部明るさの設定

●表示部の明るさを変更することができます。

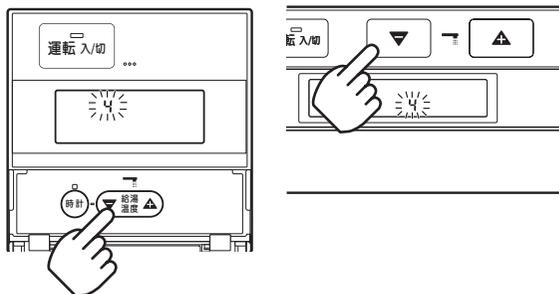
1 ふたを開く ※台所リモコンのみ

2 運転スイッチを押して「切」にする



※運転スイッチが「入」のとき

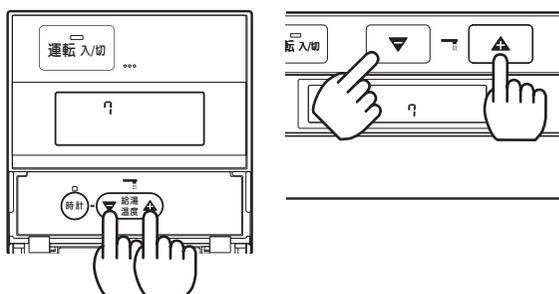
3 給湯温度調節スイッチ▼を約5秒間押す



現在の設定を表示します。

4 給湯温度調節スイッチを押す

給湯温度調節スイッチを押すごとに「(暗) 1 ⇄ 2 … 6 ⇄ 7 (明)」の順に変更できます。約40秒間操作しないと設定が完了します。運転スイッチを押しても設定が完了します。



5 ふたを閉じる ※台所リモコンのみ

お知らせ

- お買い求め時は「4」に設定されています。
- リモコンごとに設定することができます。

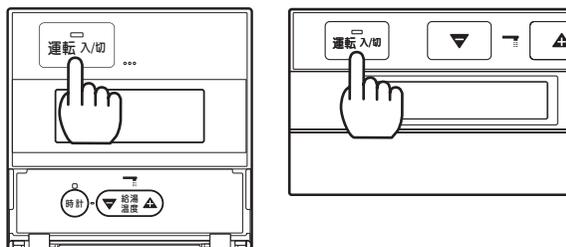
表示部省エネモードの設定

●表示部のバックライトの点灯状態を変更することができます。

1 ふたを開く ※台所リモコンのみ

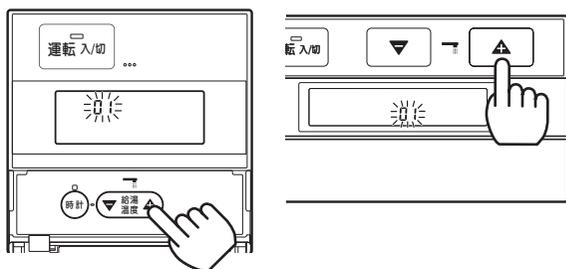
2 運転スイッチを押して「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき



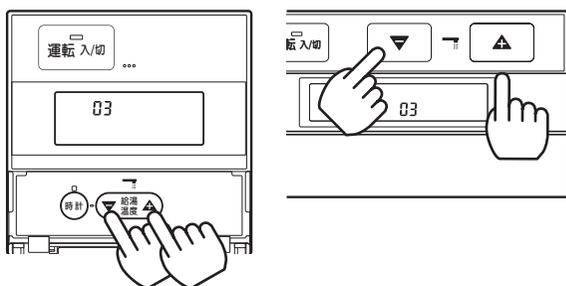
3 給湯温度調節スイッチ▲を約5秒間押す

現在の設定を表示します。



4 給湯温度調節スイッチを押す

希望の表示部省エネモードを選択します。
約40秒間操作しないと設定が完了します。
運転スイッチを押しても設定が完了します。



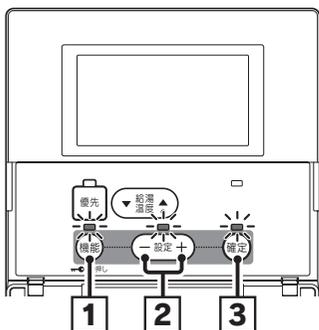
5 ふたを閉じる ※台所リモコンのみ

表示部 省エネモード	内容
01	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。(操作終了から約5分後)
02	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。(操作終了から約5分後)
03	常に設定した明るさで表示します。
04	常にバックライトを消灯します。

お知らせ

- お買い求め時は「01」に設定されています。
- リモコンごとに設定することができます。
- 「01」・「02」に設定していても、給湯設定温度を6段以上に設定しているときは、常に設定した明るさで表示します。
- 「01」・「02」はリモコンを操作すると表示部のバックライトは元の明るさに戻ります。(機器が燃焼しても表示部の明るさは変わりません。)

ピークシフト時刻の設定 別売の増設リモコン(CMR-2501SV)で設定します。



●ピークシフト運転の開始時刻と終了時刻を設定することができます。

お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認して、ピークシフト時刻を設定してください。
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は設定されていません。(「PM--:--~PM--:--」と表示されます。)
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の見出しに戻ります。

1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

3 設定スイッチ②を押して「ピークシフト時刻」を選択し確定スイッチ③を押す



4 設定スイッチ②を押してピークシフト開始時刻を設定し確定スイッチ③を押す



1回押すと1分単位、押し続けると10分単位で変わります。
確定スイッチを押すとピークシフト開始時刻が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

5 設定スイッチ②を押してピークシフト終了時刻を設定し確定スイッチ③を押す



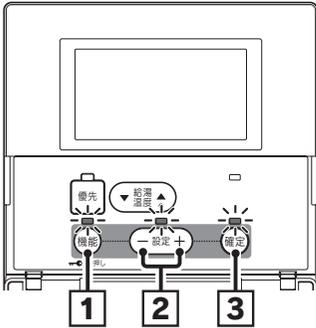
1回押すと1分単位、押し続けると10分単位で変わります。
確定スイッチを押すとピークシフト終了時刻が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

6 ふたを閉じる

通常の見出しに戻ります。
約40秒間操作しないと通常の見出しに戻ります。

使用方法

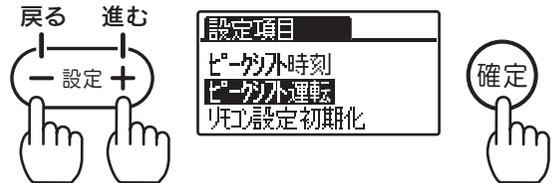
ピークシフト運転の設定 別売の増設リモコン(CMR-2501SV)で設定します。



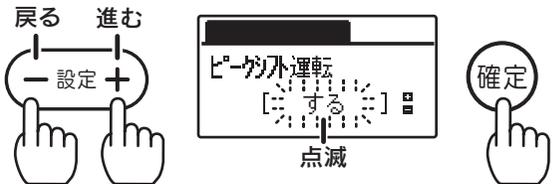
1 ふたを開く

2 機能スイッチ $\boxed{1}$ を押す

3 設定スイッチ $\boxed{2}$ を押して「ピークシフト運転」を選択し確定スイッチ $\boxed{3}$ を押す



4 設定スイッチ $\boxed{2}$ を押して選択し確定スイッチ $\boxed{3}$ を押す



設定スイッチを押すごとに「しない⇄する」を交互に繰り返します。
確定スイッチを押すと設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

5 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

お知らせ

- ピークシフト時刻が設定されていることを確認して、ピークシフト運転を設定してください。
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「しない」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

凍結予防

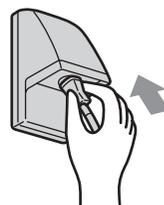
- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

凍結予防装置による方法(自動)

電源プラグの確認

⚠注意

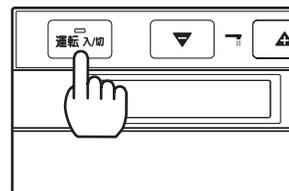
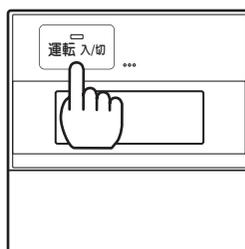
電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



- 冷え込みが厳しい場合は凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「[「じゃ口から水を流す方法」](#)」、「[「バーナーを運転させる方法」](#)」、「[「機器内の水を抜く方法」](#)」の処置を行ってください。

じゃ口から水を流す方法

1 運転スイッチを押して「切」にする

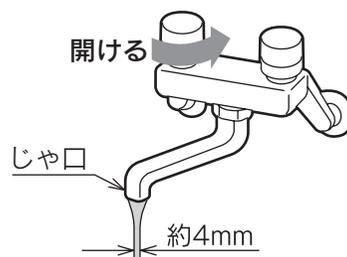


※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯栓を開ける

2ハンドル混合水栓の湯側を開けて、じゃ口から毎分400cc程度(約4mm)の水を流したままにします。

シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを湯側にして開けてください。



⊕お知らせ⊕

- 機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
- 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度確認してください。
- この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

使用方法

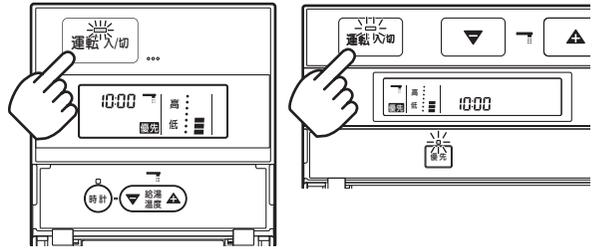
バーナーを運転させる方法

1 給湯栓を閉める

2 ふたを開く ※台所リモコンのみ

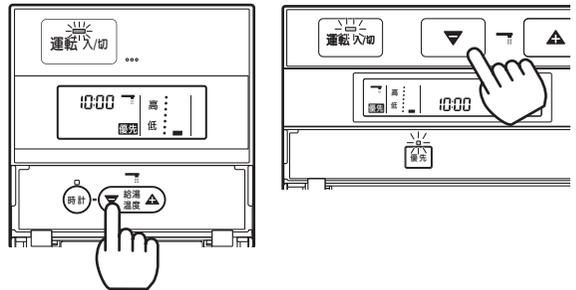
3 運転スイッチを押して「入」にする

運転ランプと「優先」(優先ランプ)が点灯します。



4 給湯温度調節スイッチで給湯温度設定を「低」にする

「優先」(優先ランプ)が点灯しているリモコンで温度調節ができます。



5 ふたを閉じる ※台所リモコンのみ

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので必ず十分に保温してください。
- 特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯設定温度を一度「高」にして、しばらく(数分間)おき、熱交換器内のお湯の温度を上げてから「低」にしてください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
- この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

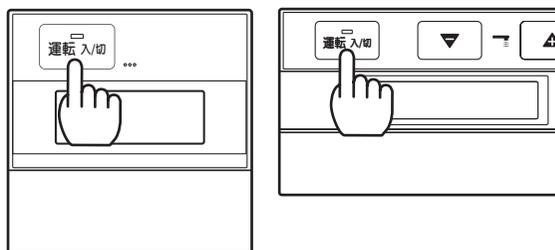
機器内の水を抜く方法(凍結予防装置は作動しません)

⚠ 注意

- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

1 運転スイッチを押して「切」にする

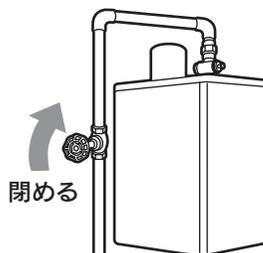
※運転スイッチが「入」のとき



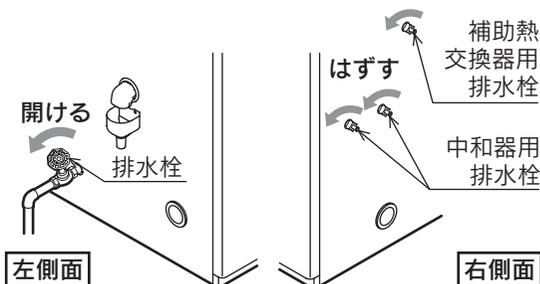
2 電源プラグを抜く



3 給水元栓を閉める

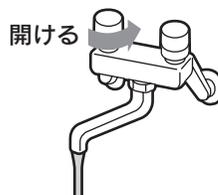


4 排水栓1箇所を開け、排水栓3箇所をはずす



5 給湯栓を開ける

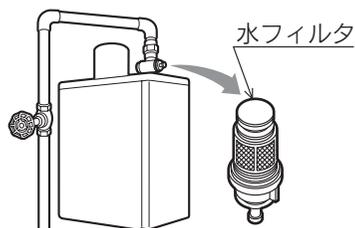
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを湯側にして開けてください。



使用方法

6 水フィルタをはずす

※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。



⊕お知らせ⊕

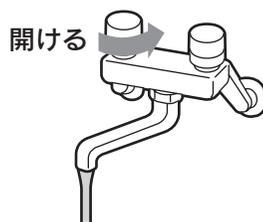
- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- はずした排水栓や水フィルタは紛失しないように注意してください。

運転再開時の注意

- 機器を運転する前には必ず排水栓を閉め、補助熱交換器用排水栓・中和器用排水栓・水フィルタを元通りに取付け、給水元栓を開けてから水が出ることを確認してください。その後、「使用前の準備」・「使用方法」に従って使用してください。12~16ページ
確認せずに運転すると機器が破損することがあります。

水が出ることを確認

- 機器からできるだけ離れた1箇所の給湯栓を開けて、水が出ることを確認してください。
- 水が出にくいときには凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。



安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動停止します。	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置 (制御基板)	バーナーが着火ミスや失火、異常燃焼したときに作動して自動停止します。	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動停止します。	再通電後は運転停止になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。
過熱防止装置	サーミスタや燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だきにより熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから、再度押して「入」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	凍結のおそれがなくなると自動的に切れます。
電流ヒューズ 送風機ヒューズ	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
中和器つまり 検知装置	ドレン配管や中和器がつまり、ドレン水の排出ができなくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
油切れ予告装置 (別売部品)	油タンク内の灯油の残量が少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	エラーコードが表示されても、機器はしばらく運転しますが、すみやかに給油してください。

使用上の注意



注意

排気筒や拡散排気筒に注意

- 燃焼中や消火直後の排気筒や拡散排気筒は高温です。手など触れないように注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意

- シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。リモコンの運転スイッチを押して「切」にしても機器内の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。

安全装置が作動したときは

- 安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。**27ページ**
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。

機器内のお湯(水)について

- 機器内や配管内に長時間たまっていたお湯(水)は、使用水の水質・配管材料の劣化・水あかなどにより水質が変わることがあります。飲用または調理に使用しないでください。

油切れに注意

- 油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。
- 別売の油切れ予告装置を取付けると、リモコンで給油のタイミングをお知らせします。**11ページ**

日常の点検・手入れを行う **29・30ページ**

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。**25・26ページ**

地震などの被害があったとき

- 運転スイッチを押して「切」にし、電源プラグを抜いて使用を中止してください。
機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を行ってください。**23・25・26ページ**
- 停電およびバックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。
給湯器の使用後はリモコンの運転スイッチを押して「切」にし、凍結予防の「機器内の水を抜く方法」の「2」以外の処置を行ってください。**25・26ページ**

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠️ 注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

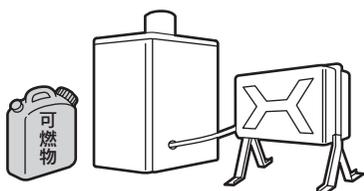
点検・手入れの時期、必要項目、方法 毎日

排気筒の接続部の緩み、およびトップの周囲

排気筒およびトップ・拡散排気筒に緩みがないこと、周囲に可燃物がないこと、またススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

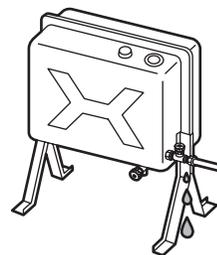


周囲の可燃物



機器・排気筒・拡散排気筒および油タンクの周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

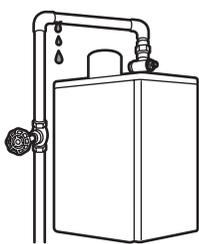
油漏れ、 油のたまり、 油のにじみ



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ・油のたまり・油のにじみがないことを確認してください。

適時に

水漏れ



機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

リモコン



水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。

日常の点検・手入れ

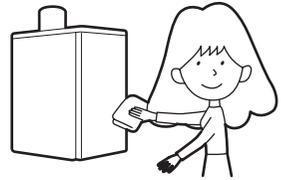
1年に1回以上

油タンク



油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開けて必ず抜きとってください。

ほこり

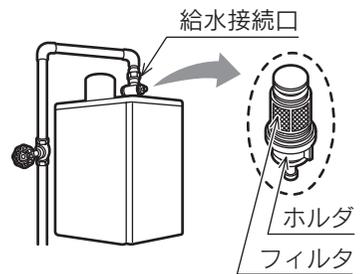


機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。特に機器側面または背面の空気取入部にたまったほこりをふきとってください。

水フィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

1. 給水元栓を閉め、水フィルタをはずします。
2. 水フィルタについているフィルタを掃除します。フィルタを变形させないようにしてください。またフィルタはホルダからはずさないでください。
3. 水フィルタを取付け、給水元栓を開けた後、給湯栓を開けて配管内の空気を抜いてください。



熱交換器の掃除

熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。必ず消火後、機器が冷えてから行ってください。冷えた状態で行わないと熱いお湯が出て危険です。

1. リモコンの運転スイッチを押して「切」にします。
2. 電源プラグを抜きます。
3. 給水元栓を閉めます。
4. 機器の排水口と補助熱交換器用の排水栓および給湯栓を開け、熱交換器内の水を排水します。
※中和器用排水栓は開けないでください。
5. 排水したら給水元栓を開け、きれいな水が出てきたら排水口と補助熱交換器用の排水栓および給湯栓を閉めます。

油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまっていないことの確認をお買い求めの販売店に依頼してください。

逃し弁の確認

逃し弁の排水ホースから、常時水が漏れていないことを確認してください。常時水が漏れていたなら、逃し弁または減圧弁の故障が考えられますので、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務:消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

- 次のような場合は故障ではありません。
修理を依頼する前にもう一度確認してください。

給湯器本体・リモコンに関すること

現象	説明
排気筒や拡散排気筒から白煙や湯気が出る	・この機器は高効率型で排気温度が低いので、条件により排気が白く見えることがあります。
運転ランプやリモコン表示部が点灯しない	・電源プラグが抜けていませんか。
停電復帰後、リモコン表示部が点灯しない	・リモコンの運転スイッチを押して「入」にすると表示部が点灯します。
リモコンの表面が熱く感じる	・使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。
リモコンの表示部が暗い	・表示部明るさの設定が「1」（暗い）側に設定されているためです。 ・表示部省エネモードの設定が「04」（常にバックライトを消灯）または「02」（操作終了から約5分後にバックライトを消灯）に設定されているためです。 19・20ページ
リモコンの表示部が暗くならない	・表示部省エネモードの設定が「03」（常に設定した明るさで表示）に設定されているためです。 20ページ ・給湯設定温度が6段以上に設定されているためです。
表示部の色が変わる	・表示部を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。また表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
表示部の切り替わりが遅い	・気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。
排水用ホッパーや逃し弁の排水管からお湯が出る	・熱交換器内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。
排水用ホッパーに水が出る	・この機器は高効率型で機器内で発生した凝縮水を排出しています。
リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	・燃焼室内の排ガスを排出するためです。
燃料を切らした後、給油しても火がつかない	・燃料が切れた後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火がつかない場合があります。 11ページ

給湯(シャワー)に関すること

現 象	説 明
給湯栓を開けてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・断水していませんか。 ・凍結していませんか。 ・リモコンの運転スイッチが「切」になっていませんか。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	<ul style="list-style-type: none"> ・機器から給湯栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
給湯温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・操作しているリモコンの「優先」または優先ランプが点灯していないときは調節できません。 16ページ
給湯温度・給湯量が不安定なことがある	<ul style="list-style-type: none"> ・他の給湯栓を同時に使用すると、給湯温度が熱くなったり、ぬるくなったり、給湯量が少なくなったりすることがあります。 ・水道の圧力や配管条件によっては、給湯量が減ることがあります。
お湯が白く見える	<ul style="list-style-type: none"> ・水中に溶けていた空気が分離して、細かい泡となり白く見えるためです。
お湯の出が悪くなった	<ul style="list-style-type: none"> ・水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 30ページ

バックアップ電源ユニットに関すること

現 象	説 明
動作しない (給湯器)	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっていますか。運転スイッチが「入」になっていないと、給湯器電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。
停電時動作しない (バックアップ電源ユニットの外部電源出力に接続している機器)	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ電源ユニットの運転スイッチと外部電源出力スイッチが「入」になっていますか。どちらのスイッチも「入」になっていないと、外部電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。
停電時動作しない (給湯器・バックアップ電源ユニットの外部電源出力に接続している機器)	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーの容量が減っていることが考えられます。 ・充電時間は充分経過しましたか。また、バックアップ電源ユニットの電源プラグはコンセント(商用電源)に差し込まれていますか。停電中は充電できません。

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード一覧

- エラーコードをそれぞれのリモコン表示部に表示します。
- エラーコードが表示されたときは以下の処置を行ってください。
- 確認・処置後リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

給湯器本体に関すること

エラーコード	説明	確認・処置
100	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。
110	着火ミス	油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。何度もリセットを繰り返すと危険です。
120	途中失火	2、3回リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
130	再点火防止機能作動	お買い求めの販売店にご連絡ください。
150	過熱防止装置作動	
160	(バイメタルサーモ作動)	
151	過熱防止装置作動 (ハイカットサーミスタ作動)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
290	中和器異常	
301	外気温サーミスタ異常 (警告表示)	
321	給湯サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
360	過熱防止装置異常 (ハイカットサーミスタ異常)	
480	油切れ予告装置異常 (警告表示) 〔OC-5(別売部品)取付時〕	
610	送風機異常	
720	炎検出異常	
731 732 733	制御基板(記憶回路)異常	電源プラグを差し直してください。
740	通信異常	
750 760	(停電していないときまたは) バックアップ運転中	
830	油切れ予告装置作動 (警告表示) 〔OC-31(別売部品)または〕 〔OC-5(別売部品)取付時〕	油タンクに給油してください。

エラーコード	説明	確認・処置
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	お早めに法定点検を受けてください。(※1) 「888」表示は運転スイッチを10秒間に5回以上押すことにより一時的に消すことができます。(1年後に再表示します) 連絡先：株式会社長府製作所  電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9:00~18:00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命 (警告表示)	しばらくは使用できますが中和器の交換が必要です。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
930	中和器寿命 (機能停止)	機器は使用できません。 お買い求めの販売店にご連絡ください。

※1…法定点検の詳細は、別紙の「特定保守製品についての説明書」を参照してください。

■警告表示について

エラーコードが表示されても給湯器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから、再度押して「入」にします。

バックアップ電源ユニットに関すること

エラーコード	説明	確認・処置
300	サーミスタ異常 (警告表示)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
730	制御基板(記憶回路)異常	バックアップ電源ユニットをリセットしてください。
740	通信異常	
750 760	(停電中で給湯器が「切」のとき)	
770	制御基板 (インバーター回路)異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
780	バッテリー電圧低下	接続した機器の使用をやめてバッテリーに充電を行ってください。 表示が消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
790	給湯器通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。

■警告表示について

エラーコードが表示されてもバックアップ電源ユニットは使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

■リセット(警報解除)の方法

バックアップ電源ユニットの運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したまま使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に依頼してください。
同時に機器の点検をおすすめします。

別売部品について

油切れ予告装置(OC-5・OC-31)

- この機器には油切れ予告装置を取付けることができます。
取付けはお買い求めの販売店にご相談ください。

仕 様

型 名	EHI-4564SG-1		
型 式 の 呼 び	EHI-456		
種 類	圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・水道直結式・家庭用 屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形		
点 火 方 式	高圧放電式		
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)		
燃 料 消 費 量	47.7kW(4.64L/h)		
連 続 給 湯 効 率	95.0%		
連 続 給 湯 出 力	45.3kW(39,000kcal/h)		
停 電 時 給 湯 可 能 量	720L以上(給水温度15℃、出湯温度40℃)		
熱 交 換 器 容 量	17.0L(主熱交:13.8L 補助熱交:3.2L)		
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		
伝 熱 面 積	1.14m ² (主熱交:0.86m ² 補助熱交:0.28m ²)		
外 形 寸 法	高さ 933mm	幅 300mm	奥行 591mm
質 量 (満 水 時)	40kg(57kg)		
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	100V 50/60Hz		
定 格 消 費 電 力	点 火 時	110/105W	
	燃 焼 時	85/80W	
待 機 時 消 費 電 力	1.7W		
排 気 筒 の 呼 び 径	100		
排 気 温 度	260℃以下		
騒 音 レ ベ ル	49dB(A)		
ノズル	噴 霧 量	1.2GPH	
	スプレーパターン	テラバン社のAパターン	
	噴 霧 角 度	60°	
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A		
送 風 機 ヒ ュ ー ズ	3A		
安 全 装 置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
そ の 他 の 装 置	凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)		
付 属 品	取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋 排水用ホッパー・送油管・台所リモコン一式・給水口保温材		
別 売 部 品	リモコンコード・油切れ予告装置・防水形増設リモコン・増設リモコン		
区 分 名(省 エ ネ 法)	B		
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	95.0%		

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に32～35ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名……………石油瞬間給湯器
2. 型名……………機器の前パネルに貼ってあるシールに記載されています。

EHI-4564SG-1

7ページ

3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……………できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています(巻末)

- 正常な使用状態において故障した場合は、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後
11年です

- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよく相談してください。また、「標準据付例」は工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選択してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることを確認してください。

試運転 (試運転はお買い求めの販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。)

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
1.油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2.油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
3.送油管が逆U字型になっていませんか。	
4.給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
5.機器や配管から水漏れはありませんか。	
6.リモコンは確実に接続されていますか。	
7.電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

1.運転開始手順

リモコンの運転スイッチを押して「入」にし、給湯栓を開けてください。

「優先」または優先ランプが点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチで希望の温度に調節してください。

2.初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり燃焼をはじめます。

燃焼しないときはもう一度送油経路の空気抜きを行ってください。

3.正常運転のめやす

給湯温度の調節ができること、排気筒や拡散排気筒からススや煙が出ていないこと、また異音が生じていないことを確認してください。

4.停止

リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。

お知らせ

- バックアップ電源ユニットの試運転はバックアップ電源ユニット付属の取扱説明書の「据付け」の「試運転」に従って行ってください。
- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- リモコンの燃焼表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。 **34・35ページ**

長府石油瞬間給湯器保証書(販売店様控)

型名	EHI-4564SG-1
★製造番号	No.
保証期間	1年

★お買い上げ日	年 月 日
★お客様	ご住所 _____
	お名前 _____ 様
	電話 ()
★販売店	住所・店名 _____ (印)
	電話 ()

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1) 本保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2) 本保証書に記載したお客様の個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器保証書(お客様控)

型名	EHI-4564SG-1
★製造番号	No.
保証期間	1年

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

★お買い上げ日	年 月 日
★お客様	ご住所 _____
	お名前 _____ 様
	電話 ()
★販売店	住所・店名 _____ (印)
	電話 ()

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で、本保証書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111

おぼえがき

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	電話番号		

●記入しておくで修理などの依頼のときに便利です。

<div data-bbox="97 527 334 591" data-label="Section-Header"> <h2>愛情点検</h2> </div> <div data-bbox="89 660 343 892" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="463 510 1138 556" data-label="Section-Header"> <h2>長年ご使用の石油給湯器の点検を！</h2> </div>	
	<div data-bbox="443 604 707 683" data-label="Section-Header"> <h3>こんな症状は ありませんか？</h3> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●水漏れ・油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。 	<div data-bbox="938 622 1134 666" data-label="Section-Header"> <h3>ご使用中止</h3> </div> <p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。</p>

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



- 本社 ————— 山口県下関市長府扇町2-1
- お問い合わせ先 —————

本社・営業部	〒752-8555	下関市長府扇町2-1	☎(083)248-1111
			FAX(083)248-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛岡営業所	〒020-0122	盛岡市みたけ5-15-50	☎(019)641-0811
仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1-4-6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東京支店	〒160-0022	新宿区新宿5-14-6	☎(03)5369-3511
横浜営業所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千葉営業所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金沢営業所	〒921-8550	金沢市玉鉾4-17	☎(076)292-3111
松本営業所	〒390-0837	松本市鎌田1-3-17ヨシエビル1F	☎(0263)24-0211
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野洲市野洲1473-1	☎(077)588-4111
大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	☎(06)6338-7111
香川営業所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡山営業所	〒700-0976	岡山市北区辰巳3-111	☎(086)245-1111
広島営業所	〒732-0811	広島市南区段原1-1-1	☎(082)261-5111
福岡営業所	〒812-0063	福岡市東区原田4-2-7	☎(092)629-5111
沖縄営業所	〒901-2101	浦添市西原3-18-10	☎(098)877-3111